

**広報****修学週報****(仮)**

編集  
修学旅行委員  
小柳優斗

近づいていた  
高校生活最大のイベント！

同じ行くなら楽しまなきゃ  
損々！

中間試験も終わって、ホッと  
一息……といったところでしょ  
うか。でも——！ 高校一年  
は、いじからが楽しみだいわ。  
一一月五日から、三泊四日の  
修学旅行！ なんとびっくり、  
あと一ヶ月ちょっとしかありません  
せん。月日が発つのって、ホン  
とに早い……なんて、そんな  
悠長なこと言ってたら、すぐに  
当日やります！ 修学旅  
行は、先生たちのものじゃな  
い。楽しむ主体も勉強する主  
体も一人一人の高生です。  
数多き高校生活の中でも特に  
忘れ難い、一生の思い出にも  
なり得る最後の修学旅行——

とはいって、何の準備もしな  
いで、いきなり楽しめといつ  
のも無理な話。ということ  
で、修学旅行委員の皆から、  
ささやかなプレゼント。この  
広報では、修学旅行における  
様々な楽しみどころやオス  
スメの場所、旅行における注  
意点などについて、ズバッと  
紹介していきます。

最高の思い出づくりのた  
めには、入念な下調べだって  
大事！ 旅行先でぐだぐだ  
にならないためにも、どんな  
ことがしたいか、何に気を付  
ければ良いか、事前にしつか  
り考えてみましょう。その参  
考にして下さいね。



広報の「これから」について

紹介するジャンルは、多岐にわ  
たります。旅行先は宮古島。  
その他の紹介の他、現  
地の風土、文化、グルメ、オス  
スメのスポーツ etc……。また

面白くて何に興味あるかって  
のは、やっぱり同年代に聞くの  
がいちばん！ と、いうこと  
で、あくまで予定ではあります  
が、これから各週修学旅行  
委員広報担当の諸君が、今回  
の宮古島修学旅行における、  
色々なことを紹介してくれま  
す。これを読めば、いやがおう  
にも旅行が待ち遠しくなつて  
くること間違いなし！

修学旅行は言つまでもなく、  
団体行動。一人の「知らなかつ  
た」「何とかなるやろ」が、どん  
でもない迷惑に繋がることも  
ある。そうなつてから後悔して  
も遅い。始まれば、終わるまで  
ノンストップです。つまらない  
失敗で一九六人全員の空気を  
悪くする』ことがないよう、一つ  
一つのことにしっかりと注意しま  
しょう。

# “んむつし”修学新聞

※「んむつし」とは、宮古島方言で、「楽しい」ということ

## 国際通りの人気お土産

### アーチキック TOP3

さて、続いて二つ目は、「謝花きっぱん店」という和菓子のお店で、きっぱんは沖縄産柑橘類のクニーフー。カーブチーなどを作る砂糖衣の菓子。

冬瓜漬けは冬瓜を長方形に切り分け、甘く煮詰めて砂糖をまぶした菓子。手作りならではの味わいを楽しめます。

第一位は二つあります。  
一つ目は「久高民藝店」という、沖縄伝統の壺屋焼・琉球ガラス・染織物など厳選した民芸品を集めた店で、シックで落ち着いた雰囲気の店内の一角は、ギャラリーになっており、ゆっくりと展示品を見学することもできます。

興味のある人は是非。



編集  
喜吉 蘭真  
佐々木 理菜

続いて第一位は、

「B-1-JOU BOX」という、工芸品・民芸品系のお店で、沖縄の家の守り神・シーサーや、キジムナ（カジマルの性靈）など、オリジナルのキャラクターアイテムを扱う店。どれも、思わず顔がほころぶ、癒し系の表情が魅力です。

そして最後、第三位は、「グラントブルー銀遊」という、イルカやマンタなど海の生物をモチーフにしたオリジナル・アクセサリーが充実。シルバー925のペンダントトップや、琉球ガラスを使った、ストラップ、ピアスなどがそろっているお店です。なかなか楽しそうだ！



## オススメのお土産

### 文責—佐々木理菜

国際通りは、約1・6キロの通りで、現在70%をみやげ屋が占めています。そこで、みんなに沖縄のおすすめのお土産や、変わったお土産を紹介します。

まずは、沖縄のオススメお菓子です。

#### 『紅芋タルト』

沖縄の特産品、紅イモを使用して作ったタルトです。現在はかなり人気で、どこのみやげ屋でも、「おすすめ人気」として販売されています。

#### 『サーティアンダギー』

沖縄の老若男女に人気の、伝統的なお菓子です。味はプレーン・黒糖・紅芋・ウコン・かぼちゃなどがあります。砂糖がふんだんに使われ、また気泡が小さくて密度が高いため、食べ応え、満腹感のある菓子であり、表面はサクサク、中はシットリとした食感です。



ちなみに名前の由来は、首里方言で「サーティー」は砂糖、「アンダギー」は「アンダ(油)」+「ギー(揚げ)」で揚げ物を意味します。わかりやすく言えば沖縄風ドーナツです。お土産屋さんは、サーティーアンダギーを自分で作れる粉も売っています。

#### 『ちゃんすこう』

ちゃんすこうは琉球王国時代から沖縄県で作られているという、伝統的なお菓子です。

沖縄のビスケットのような感じで、味に少しきせがあるけど、現在ではいろいろな味が出ています。プレーンだけでなく、黒糖・紅芋・コナツ・バナナなどあり、最近では塩味やショコラも出ています。

#### 『サーティアンダギー』

沖縄の老若男女に人気の、伝統的なお菓子です。味はプレーン・黒糖・紅芋・ウコン・かぼちゃなどがあります。砂糖がふんだんに使われ、また気泡が小さくて密度が高いため、食べ応え、満腹感のある菓子であり、表面はサクサク、中はシットリとした食感です。

#### 『沖縄Tシャツ』

沖縄Tシャツはもともと売られているTシャツから、自分で好きな文字をいれたりすることができます。一つだけのTシャツを作ることができ

次に沖縄のオススメ民芸品を紹介します。

#### 『シーサー』

シーサーは沖縄県で見られる伝説の獣の像で、建物の門や屋根などに据え付けられ、家や人、村に災いをもたらす悪霊を追い払う魔除けの意味を持ちます。

口の開いたシーサーが雄で、右側に置き、福を招き入れ、口を閉じたシーサーが雌で、左側に置き、あらゆる災難を入れないとされています。

#### 『琉球グラス』

独特な鮮やかな色が特徴なグラスです。

琉球グラスは戦後沖縄で米軍の持ちこんだ飲料瓶を再生して作ったものです。

#### 『シークワーサーラムネ』

シークワーサーラムネです。果汁入りで、オキナワラムネとして誕生しました。他にも、沖縄のみかん、タンカンラムネもあります。

#### 『ババヌロちゃんすこう』

ピリ辛で変な組み合わせですが、甘いものと辛いものでとても美味しいです。

#### 『星の砂』

星の砂の形をした砂が瓶に入って、キー・ホールダーになっているのです。星の砂は原生生物である有孔虫の殻です。殻の形態が星や太陽を思わせる幾何学的な形状であるため、生物学的な研究対象としてのみならず、鑑賞の対象としても広く愛好されています。

最後に変わったお土産を紹介します。

#### 『ゴーヤかりんとう』

黒糖を使つており、甘味とゴーヤの風味から、うまいことミックスされています。これなら「ゴーヤの苦手な人もも美しく食べられます。

# んむっし “修学新聞”

※「んむっし」とは、宮古島方言で、「楽しい」ということ

国際通り

人気グルメランキング

TOP 3

文責 長谷川翼

第一位

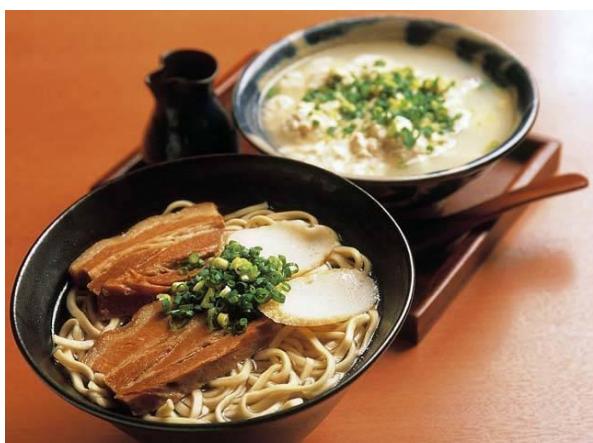
「琉球茶房すーる」

オフィス街にある古民家  
を改装した店。名物の淡水そ  
ばは、カツオの風味がある細  
めんが特徴。

焼き醤油のタレで食べる

ゆし豆腐やスイーツも人気

だ。



編集  
長谷川 翼  
石光 咲子

第一位  
「元祖大東そば」

オーナーは南大東島の名  
店「大東そば」の二代目。

木炭と海水を練り込んで  
作る、太く縮れたコシの強い  
麺は、食べ応えがある。スー  
ブには南島東島の天然塩を  
使う。

大東そば 500円  
(大) 600円

淡水そば 700円  
ゆし豆腐セット 600円  
自家製せんざい 380円



第三位  
「ステーキハウス88」

那覇市辻にある老舗、ステ  
ーキハウスの支店。肉は最高  
級の沖縄県産和牛からニュ  
ージーランド産までそろえ、  
予算に合わせて選べる。ダイ  
ナー風のインテリアも洒落  
ている。

県産和牛ロースステーキ  
ランチ 1000円  
タコス 740円



## 沖縄料理 いろいろ

文責 石光 咲子

### ①ゴーヤ・チャンブルー



チャンブルーとは野菜や豆腐などを炒めた沖縄料理。チャンブルーとは沖縄方言で「混ぜこぜにした」というような意味であり、野菜や豆腐に限らず、さまざまな材料を一緒に炒め合わせる。

### 「ゴーヤチャンブルー」

「タマナーチャンブルー」などのように主な材料の名を冠して呼ばれることが多い。

チャンブルーとは野菜や豆腐などを炒めた沖縄料理。チャンブルーとは沖縄方言で「混ぜこぜにした」とい

うような意味であり、野菜や

豆腐に限らず、さまざまの材

料と一緒に炒め合わせる。



元々は有り合わせの野菜に、安価で毎日手に入る豆腐、保存食である塩漬けの豚肉などを加えた家庭料理であるが、近年ではテレビ番組で紹介されるなどして沖縄県以外の日本各地でも食べられるようになった。

### ②サーティーアンダーギー



「サーティーアンダーギー」「サーティーアンラギー」ともいう。

宮古島列島では「さたばんびん」と呼ばれる。宮古方言で、「さた」は「砂糖」、「ばんびん」は揚げ菓子を意味する。

「サーティーアンダーギー」は砂糖、「アンダーギー」は「アンダ（油）」+「アギー（揚げ）」で、「揚げる」、揚げ物を意味する。その名の通り砂糖を多めに使用した球状の揚げドーナツである。

修学旅行委員からのお知らせ

お知らせ

広報「んむっし修学新聞」

修学旅行を控え、事前に注意を。みんなどうやら、定期試験のブレッシャーにとても弱いようで、試験後、ばたばたと、風邪や何やで倒れてしまう人がたくさんいます。風邪くらいなら、そう怖くはないけれど、何より気を付けて欲しいのがインフルエンザ。現地で発症などしたら、飛行機に乗れず、宮古島で延々苦しみ続ける……なんてことも。

不安な人は、事前に予防接種をうけておきましょう